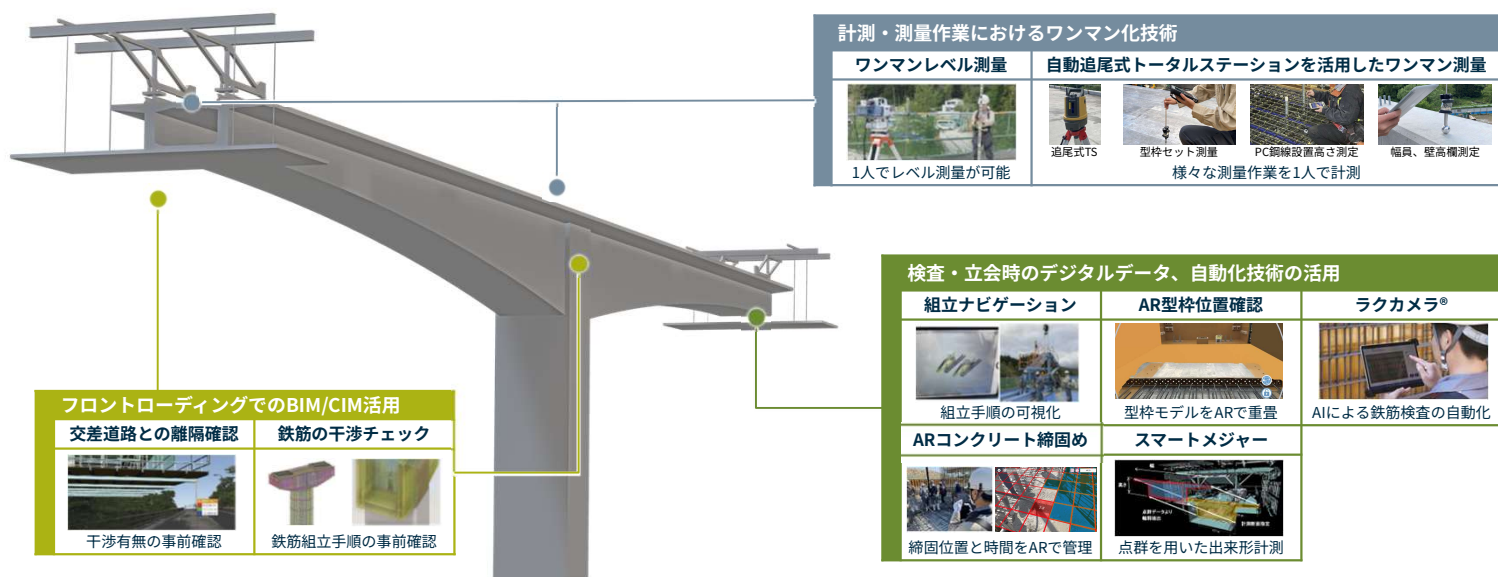


橋梁DXの進化による生産性1.5倍への挑戦

DX-Bridge

橋梁上部工工事に複数の自社開発DX技術を導入

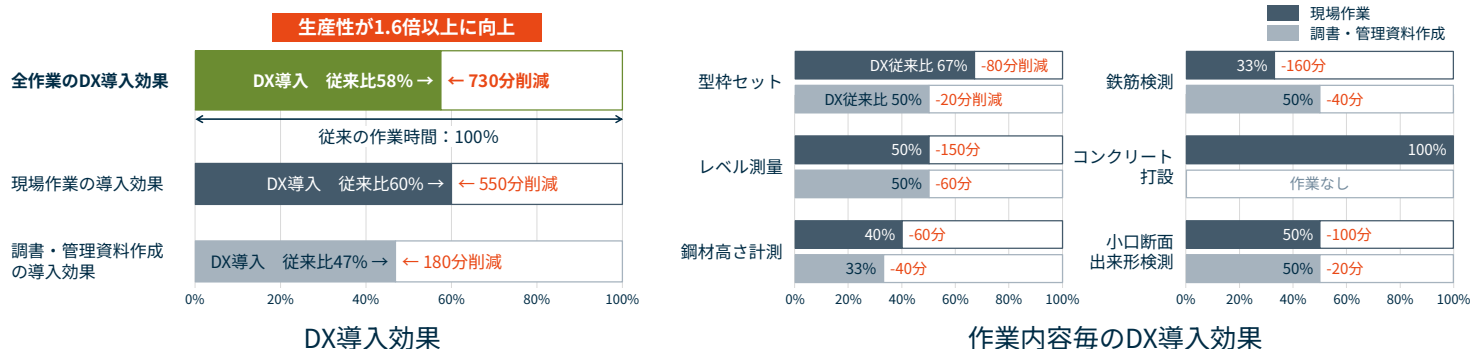
当社では、橋梁事業における生産性向上と持続可能な事業運営の実現を目指し、設計から施工、維持管理に至る事業プロセスをデジタルでつなぎ、AI・ロボット・データ活用により施工管理のオートメーション化と施工の自動化を推進する事業変革構想「DX-Bridge」を推進しています。



DX-Bridgeを構成する要素技術

職員1人当たりの生産性が1.6倍以上に向上

実際の現場で効果を検証した結果、現場作業と調書・管理資料作成に係る時間が従来と比較して約58%まで短縮し、合計で730分の削減を実現しました。生産性は約1.6倍以上に向上しており、高い導入効果があります。



DX-Bridge実証フィールドの概要

工事名称	国道47号 中山平大橋上部工工事
発注者	国土交通省 東北地方整備局
橋梁形式	PC2径間連続ラーメン箱桁橋
橋長（支間長）	159.0m（72.0m+85.0m）
架設工法	張出架設工法、側径間吊支保工



DX-Bridge構想の実証フィールドとなった中山平大橋